



株式会社お弁当の浜乃家様の 『サステナビリティ経営方針』策定を支援しました

百十四銀行（頭取 森 匡史）が実施する「114サステナビリティ経営導入支援サービス」を通じて、東大阪支店取引先 株式会社お弁当の浜乃家（大阪府松原市 代表取締役 道勇 泰孝）が『サステナビリティ経営方針』を策定されましたのでお知らせします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまのSDGsへの取組みを支援してまいります。

記

○企業概要

会 社 名	株式会社お弁当の浜乃家
所 在 地	大阪府松原市三宅西4丁目740番地7
代 表 者	道勇 泰孝
業 種	給食弁当の製造販売業

※株式会社お弁当の浜乃家の「サステナビリティ経営方針」については、別紙をご参照ください。

以 上

《経営方針書の策定にあたって》

弊社は、「食」を通じて人々の暮らしを支えるとともに、お客さまや地域の皆さまとのつながりを大切にしながら、今日まで事業を続けてまいりました。

昨今、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。これからも皆さまから必要とされる企業であり続けるためには、「これからどうありたいのか」「そのために、何をすべきか」を考え、行動していくことが重要です。

今回策定した『サステナビリティ経営方針書』を道標に「これから」も愛され、必要とされる企業となるべく、更なる成長をめざします。

代表取締役 道勇 泰孝

株式会社 お弁当の浜乃家 のサステナビリティ経営方針

経営理念

ミッション

“食”の担い手としてお客さまの生活を豊かにし、社会に貢献する。

ビジョン

安全・安心はもちろん、健康と栄養に配慮し、全ての人に寄り添う給食サービスを実現する。

バリュー

食の安全を守り、お客さまの心と身体の健康を保つ。

プリンシプル

食の安全は、全てに優先する経営判断である。

外部環境

マクロ環境

- ・社会 : 少子高齢化により、学校給食は減少傾向。
- ・政治経済 : 原材料、エネルギー価格、人件費などの経費高騰。
- ・技術 : 冷凍技術の向上。DX化の遅れが収益率悪化や機会損失に。
- ・自然 : 大規模災害に伴う事業継続リスク。気候変動による価格高騰。

ミクロ環境

- ・顧客 : 官公庁や病院、介護施設などの新たな取引先の開拓。「食育」という社会貢献を通じた販売戦略の確立。
- ・商流 : 特定先に依存しない調達ルート の確保。
- ・競合 : 実績と技術を活かし、価格競争に巻き込まれない商品・サービスの開発・提供。

事業活動

マテリアリティ

- 1.食を通じて、子どもたちの健やかな成長を支える
- 2.社員と地域を守る食品工場であり続ける
- 3.公平性・透明性を重視したサプライチェーン運用体制の確立
- 4.食を通じたアスリートの育成支援

取組方針

- 地域の支援団体と連携し、子ども食堂への継続的な食材提供を実施
- 防災力を高め、地域の食を守る運営体制を構築する
- 調達から製造まで安全性を確保し、「浜乃家品質」の食事提供を継続

フードロス対策に取り組み、資源と環境に配慮した製造を実施
- 青少年スポーツ選手の体づくりに繋がる食育支援

持続可能な社会の実現へ

社会価値・経済価値創出

目標値



継続目標
・毎月1回以上、子ども食堂に食材を提供



2026年
・事業継続シミュレーションおよび災害訓練の実施・定着化



2030年
・『レジリエンス認証』の取得



2027年
・社内システム更新による一元管理の実施

継続目標
・食材廃棄率5%以下



2026年
・NB商品“はぐメシ”提案研修の開催
・推進体制の整備

2027年
・スポーツ団体への“はぐメシ”提案開始



2028年
・食育セミナー年12回
・“はぐメシ”販売目標 90,000食/年

経営資本

- 財務資本**
金融機関との信頼関係の構築
- 物的資本**
多種多様な顧客ニーズへの対応
- 人的資本**
ベテラン職員による経験の蓄積
- 知的資本**
第三者認証の取得による品質管理
- 関係資本**
調達先との良好な関係構築
- 社会資本**
交通アクセスの良好な立地を確保
- 自然資本**
安定した水の確保